



シリーズ

武雄の治水

vol.42

～水と共に生きるまちへ～

今回のテーマは

流域治水の取り組みが進んでいます

「流域治水」とは大雨による被害を減らすために、川やダムだけでなく、地域の人みんなで水を受け止める工夫をすることです。今、企業や農業者、公園、家庭など、色々な人たちが色々な場所でこの取り組みを実践しています。

●市内で進む流域治水

行政

国、県、市により六角川水系の河道掘削・浚渫が行われました。川が流れやすくなり、令和3年8月と同程度の雨が降ってもポンプ停止を避けられる見込みです。



六角川河道掘削

掘削土有効活用
(堤防敷付け盛土)

農業者の皆さん

農家の方々は「田んぼダム」に取り組んでいます。上流にある田んぼを活用し、下流への急な水の流れを抑えています。
(実施面積：206ha)



田んぼダム

地域の皆さん

雨水貯留タンクの設置が進んでいます。一人一人に水を貯める事の大切さを理解してもらい、平時は貯めた雨水を花の水やりなどに役立ててもらっています。
(貯留容量：7,236L、22基)



雨水貯留タンク

ため池管理者の皆さん

ため池管理者の方々により事前放流が行われています。大雨時に上流にあるため池が水を受け止める事で、下流への浸水被害を防いでいます。
(洪水調整量：90.75 万t、47 箇所)



ため池事前放流

民間企業

今年4月にホンダ武雄パーク『アソビバ』がオープンしました。施設中央にある調整池は、大雨時に約1,120 m³ (25 mプール約3個分)の雨水貯留が可能。うえ、平時はイベントスペースや憩いの場として活用されています。



全国的にも珍しい、公園やカフェを併設したディーラーとして、日常的に活用いただける場を目指しています。施設中央の調整池では、雨水を貯めることで、治水に貢献しながら、イベントや遊び場として開放しています。創業の地・武雄を大切に、地元を巻き込み、地域貢献につなげていきたいと思っています。

武雄インター店
瀬戸店長



「自分のこと」として、「みんな」で治水対策に取り組もう

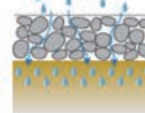
補助金のご紹介

各家庭や事業所などで行われる雨水を「貯める」「浸透させる」対策への補助を行っています。事業所などで、敷地内に貯留対策が必要な場合にも活用できます。
※工事の実施前に申請書を提出してください。

●雨水貯留浸透施設整備奨励金

【補助率】整備費用の2/3

- 【内 容】①雨水貯留広場の整備(上限100万円/件) ※用地取得費は除く
②雨水浸透樹(上限2万円/基)
③浸透管の整備(上限7,000円/m) ※②+③で1敷地総額20万円を限度
④浸透性舗装等の整備(上限500円/m²) ※1敷地総額25万円を限度



詳しくは



▲たけおポータル

お問合せ まちづくり部 治水対策課 ☎0954-27-7097

シリーズ武雄の治水 バックナンバーはこちらから▶

